

## 29年度の文化遺産調査について(第2次)

平成27年度から第2次文化遺産調査を実施しています。

区内には、暮らしのなかで絵画、短歌、俳諧などを愉しむ生活文化があり、そのなかで美術資料が生まれ現在まで伝えられています。

なかには美術史上、貴重な研究資料となるものが多く含まれ、まさに足立区は美と知性の宝庫であることがわかってきました。

調査では、美術史専門研究者を調査員に迎え、資料分析を行っています。その背景となる歴史や民俗などについても併せて調査し、総合的にこの地域の特色を捉えることを目的としています。

資料の調査分析には時間がかかりますが、そこで明らかになった情報は、博物館の財産となります。

所蔵者のご協力のもと展覧会を開くなどして、みなさまにも成果をお伝えしていきます。

こうした重要資料が散逸することなく、後世まで伝えられるように保存やその活用についても努めていきます。



(上)所蔵先での調査 (下)資料研究会

## 主な文化遺産調査の動き (第一次調査から第二次調査)

23年1月 (第1次)	<b>第1次文化遺産調査の開始</b> 平成24年に足立区制80周年を迎えるにあたり、足立区の歴史や生活文化に関する貴重な文化遺産を調査し、記録・保存することで次世代に伝えるため、千住生活史・歴史画像資料・寺院遺産の三分野で調査を開始しました。
24年度	<b>調査の成果</b> 平成24年度に寺院遺産調査の成果をまとめた特別展「足立の仏像」を開催し、展示図録「足立の仏像」及び「足立区仏像調査報告書」を発行しました。 また、千住生活史調査の成果を「ブックレット千住の民俗」としてまとめました。
27年4月 (第2次)	<b>第2次文化遺産調査の開始</b> 平成21年度のリニューアルオープン以降開催してきた「千住の琳派」展、「大千住」展などの開催で暮らしの中で用いられてきた美術資料に関する情報が博物館に多く寄せられるようになり、平成27年度から再び文化遺産調査を開始
12月	<b>文化遺産調査区長記者会見実施</b> 調査の現状と今後の展開、特別展の案内を行いました。
28年3月	<b>文化遺産調査特別展「美と知性の宝庫 足立」内覧会開催</b> 展覧会に先立ち資料提供者や関係者を招いて開催。
5月	<b>文化遺産調査特別展スタディデイ開催</b> 文化遺産調査で注目の発見などについて専門家によるお話やパネルディスカッションを行いました。

開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30まで)

休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)、  
年末年始(12月29日~1月3日)  
館内消毒(くん蒸)期間(平成29年6月19日~23日)

入館料 一般200円(高校生以上)  
団体(20名以上)は半額  
70歳以上は無料  
障がい者手帳保持者およびその介護者1名は無料  
5月5日・5月18日・10月1日・11月3日は無料公開日  
第2・第3土曜日は無料公開日

交通案内 ●JR亀有駅北口  
東武バス 八潮駅南口行(足立郷土博物館)  
下車徒歩1分  
六ツ木都住行(東淵江庭園) 下車徒歩4分

●千代田線綾瀬駅西口  
東武バス  
六ツ木都住行(東淵江庭園)  
下車徒歩4分

駐車場有



足立区立郷土博物館

〒120-0001 東京都足立区大谷田5-20-1  
TEL(03)3620-9393 FAX(03)5697-6562

博物館だよりNo.72 2017(平成29)年3月発行

再生紙を使用しています。

## 足立区立郷土博物館展示案内

博物館だより72

### 今年も博物館は頑張ります!

昨年11月に30周年を迎えた足立区立郷土博物館では、「昭和レトロ家電」や「アラサーみゅーじあむ モノがたり」など開館30周年を記念した展覧会を開催し、盛況のうちに幕を閉じました。

また、文化遺産特別展「美と知性の宝庫 足立」で展示した足立ゆかりの資料が、美術館の展覧会で巡回展示されたり、専門誌に取り上げられるなど大きな反響を呼んでいます。

「美と知性の宝庫 足立」では、江戸時代に活躍した絵師や作品に焦点を当てましたが、今年度は、千ヶ崎悌六や高橋廣湖といった足立にゆかりのある人物を取り上げます。江戸時代以降も足立に豊かな文化が栄えていたことが垣間見えます。

郷土博物館では、今後も足立で育まれた文化や歴史に関する調査・研究を進め、その成果を展覧会を通じて皆様にご覧いただきます。

郷土博物館の取り組みにご期待ください。

### 大盛況となった開館30周年記念特別展覧会

#### 「昭和レトロ家電-増田健-コレクション-」

昭和30年代、40年代に輝いた家電類を展示。ホールから2階まで、オール家電の大規模展覧会でした。



#### 「アラサーみゅーじあむ モノがたり」

開館30周年記念文化遺産調査企画展として貴重な収蔵品を特別公開しました。



▲建部崇兆筆「吉野山桜竜田川紅葉図屏風」(左雙)



博物館で浮世絵展  
美人画名品選を開催  
詳しくは裏面展示案内カレンダーをチェック

# 2017.4-2018.3足立区立郷土博物館展示・行事案内カレンダー

※展示会期・名称等は変更となる場合があります。事前にあだち広報やHP等でご確認ください。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
特別展	文化遺産調査特別展 「千ヶ崎悌六－与謝野晶子を支えた足立の歌人画家－」 -5月21日(日)		文化遺産調査企画展 「没後二百年・谷文一」(仮) 平成30年3月6日-4月15日(日)									
企画展			企画展 「高橋廣湖とその周辺」(仮) 10月31日(土)-12月10日(月・祝)									
他展覧会			浮世絵展 「美人画名品選」 7月22日(土)-9月18日(月・祝)						収集資料展 「新年・めでたづくし」 平成30年1月4日-2月12日(日)			
その他行事	郷土芸能鑑賞会 5月5日(金・祝)		夏休み子どもイベント 7月-8月		郷土芸能大会 10月22日(日) 会場：鹿浜いきいき館(予定)		郷土芸能鑑賞会 11月3日(金・祝)		じんがんなわ 初釜の会、郷土芸能鑑賞会 1月8日 1月13日		博物館の桜まつり 平成30年3月24日-4月9日 ※期間中は入館無料・月曜開館	
見頃を迎える庭園の花	[ツツジ]	[ハナショウブ]	[アジサイ]	[ススキ]	[フユザクラ]	[ウメ]	博物館の映画会(毎月第2土曜日) ※都合により休止の場合あり					
	はたらく消防の写生展 8月1日~27日											

## 浮世絵展 美人画名品選

鈴木春信、喜多川歌麿、月岡芳年、楊洲周延など美人画の世界を代表する絵師をピックアップし、その作品が持つ魅力に迫ります。

当館は初代大蔵大臣松方正義の息子である松方三郎のコレクションを核とする約1,300点にのぼる浮世絵を収蔵しています。

本展覧会では、その中でも美人画に焦点を当て、変遷する江戸文化の中で多彩に表現された名品の数々を紹介します。

## 企画展 「高橋廣湖とその周辺」(仮)

廣湖の肖像画や印章集など、新たに確認された貴重な資料を初公開！

高橋廣湖(1875~1912)は、千住の旦那衆の支援を受け活躍した明治の日本画家です。平成24年度に当館で開催した「幕末明治の千住の美術-琳派と高橋廣湖-」展を知ったご遺族から提供された遺品・遺作の調査を進めています。

その成果を踏まえ、区内から新たに発見された作品と共に高橋廣湖の画業を紹介します。

## 収集資料展 「新年・めでたづくし」

延命長寿、商売繁盛、家運隆盛など、古くから人々の願いを叶えるべく表現されたおめでたいかたちを紹介！

私たちは、厄を除け、吉を呼び込むように持ち物や衣服、室内の飾り物などにさまざまな「縁起のいい」デザインや文様を取り入れている。

収集資料の中から、新年を迎えるにふさわしい縁起のいい文様や絵柄があらわれた資料を紹介し、その意味を解説します。

## 文化遺産調査企画展 「没後二百年・谷文一」(仮)

一世文一の没後200年を記念し一世、二世、二人の谷文一にまつわる美術資料を紹介！

江戸文人画の領袖とも評された絵師谷文晁の後継者、谷文一(一世。1786~1818)は、文晁ともども千住の酒合戦図巻を描き、子の二世文一(1814~77)は沼田村(現足立区江北)の船津文淵(1806~56)と深く交流したことから、船津家に、作品、粉本、墓碑拓本など多くの資料が伝来しました。